

宮城
U C

2025 年を振り返る

今年も1年
ありがとうございました

イベント

2025 年も多くのイベントに参加しました！

- ・仙台市子育てフェスタ (1/11)
- ・健康ワンダーランド (3/9)
- ・東北大学オープンキャンパス (7/30, 7/31)
- ・エコファミワークショップ (7/26)
- ・みんなで子育てフェスタ&健康フォーラム (10/13)

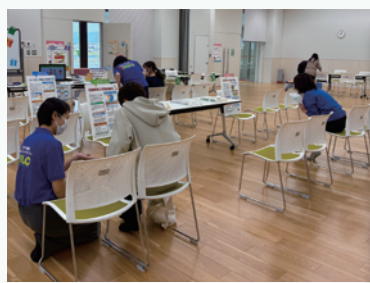
仙台市・郡市長がエコチルブースにいらっしゃいました！

- ・大崎市健康と福祉のつどい (10/19)



調査

小学6年生学童期検査・12歳詳細調査を実施



今年は、小学6年生学童期検査と12歳詳細調査を行っており、すでに多くの方にご協力をいただいております。皆さんお忙しい中、本当にありがとうございます。

3月末までは、各サブセンターで個別での調査を行っております。ご予約がまだの方は、ぜひご希望の会場があるサブセンターまでご連絡ください。

皆さんのご予約をお待ちしています！

発行:エコチル調査
宮城ユニットセンター

2025 年 令和7年 12月

第24号



©ガザンク Eco&Child Miyagi Unit Center

セミナー

エコチルオンラインセミナーの開催

オンライン形式で6回のセミナーを開催しました。睡眠や呼吸、子どものメンタルヘルスやワクチンについて、またひざの痛みやお腹の痛みについて、専門の先生にお話しいただきました。2025年セミナーのアーカイブは右の二次元コードを読み込んだリンク先からご覧いただけます。当日は参加できなかった方もぜひこの機会にご覧ください。

2025 エコチルセミナーアーカイブはこちらの二次元コードから



「河北ウィークリーせんだいジュニア」にエコチル調査のお知らせを掲載しました
宮城県内の約9割の中学校で配布している「河北ウィークリーせんだいジュニア」の秋号に、エコチル調査宮城ユニットセンターからのお知らせを掲載しました。

第1回 エコチル調査全国 フォーラム

11月1日、2日に東京大学キャンパスにて「第1回エコチル調査全国フォーラム」が開催されました。2019年にノーベル化学賞を受賞した吉野彰氏の講演のほか、小中高生による研究発表、学術シンポジウムなどが行われました。また、エコチル調査をテーマにした書道や短歌、オリジナルかるたの展示やかるた大会などもあり、多くの来場者で賑わいました。

ラジオ

ラジオキャンペーン&イベントの開催

3月の1か月間と、10月～12月にエフエム仙台と連携し、エコチルキャンペーンを開催しました。期間中は、エコチル調査のCMが流れたり、調査の成果について番組内でお話ししたりしました。12月には、「Date fm スタジオ見学&DJ体験」イベントを開催しました。こちらのイベントは大変好評につき、現在追加開催を準備しております。詳細につきましては続報をお待ちください！

アーカイブは「AuDee」で聴くことができます

3月キャンペーン
アーカイブ10月～12月
アーカイブ

スタジオ見学イベント当日には、中村マサトシさんがエコチルソングを歌ってくださいました！！

来年もエコチル調査をどうぞよろしく願いいたします！

教えて！先輩！

中学生時代のこと、 教えてください！

部活に夢中？将来のこと、考えた？
現役医学部生に聞いてみました。

調査が始まった時にはお母さんのお腹の中にいたエコチルっ子たちもすっかり成長し、一番上の学年は中学2年生になりました。勉強や部活、将来のことなど、悩んだり考えたりすることも増えたのでは？そこで今回は、いつもエコチル調査の学童期検査やデータ入力を手伝ってくれている東北大学医学部の先輩たちに、どんな中学生だったかを聞いてみました。先輩たちのリアルな声から、今のみなさんたちに役立つヒントが見つかるかも！

Q1 中学生のころはどんな勉強をしていましたか？苦手な科目をこうして克服した！などのエピソードもぜひ！

Q2 好きだった教科、苦手だった教科は何ですか？

Q3 部活はしていましたか？何部だったか教えてください。また、勉強との両立はどうしていましたか？（平日や休日はこんなスケジュールだった…など）

Q4 当時の趣味や夢中になっていたこと、好きだったことなどを教えてください。

Q5 当時の将来の夢を教えてください（理由などもぜひ！）

Q6 最後に、現在中学生のエコチルっ子たちに、ひとことメッセージをお願いします。

回答ありがとうございました！



A1 中高一貫校に通っていたので、高校入試がなく、学校の定期考査の対策を中心に勉強していました。特に数学と英語は大切だと先生に頻繁に言われていたので、数学と英語は計画的に勉強していました。苦手科目は社会でしたが、授業資料を繰り返し読むことで定期考査の点数は少し上がりました。

A2 好きだった教科は数学、苦手だった教科は歴史でした。

A3 バドミントン部でした。定期考査の直前1週間は部活動がなくなる学校だったので、その1週間で定期考査対策をしていました。平日は授業の後に部活があり、家に帰るのは19:30ごろになっていたのですが、翌日提出の課題があれば、課題をやり、翌日提出のものが無い日は勉強せずにゆっくりと過ごしていました。休日は部活の同期と地元の体育館に行きバドミントンをしていたので、勉強は20:00くらいから始めて、2時間ほどしていたと思います。

A5 将来の夢は数学の教師でした。小学校のときから学校の先生に憧れており、中学数学が好きだったこともあって、数学の先生になりたいと思っていました。

A6 日々、エコチルの調査にご協力いただき、ありがとうございます。中学生は良くも悪くも周囲からの影響を大きく受けやすい時期だと思います。心身の健康を一番に優先して、自分のペースで頑張ってほしいと思います。色々忙しいと思いますが、今後も調査に協力していただけると大変ありがたいです。

A1 数学が難しくなり始めた頃から苦手になり、テスト前だけ勉強してもあまり成績が良くない時期がありました。しかしベタな話ではありますが、授業前日に範囲を予習して分からないポイントを洗い出し、授業中はその部分について特に重点的に聞いて、帰宅後に練習問題で復習して定着させることによって、理解度が大幅に上がり、テストの勉強時間を減らしながら成績を上げることができました。また、得意科目や好きな科目を一つか二つ、時間に余裕があれば自身で先取りして勉強をすることをお勧めします。勉強の気分転換になるだけでなく、先の事まで終わっていると心の余裕や自分に対する自信につながります。

A2 好き：地理 苦手：数学

A3 卓球部。朝に体を動かすと1時間目から頭がまわるので自主的に朝練に行っていた。その分午後はあまり遅くまでやらずに早めに帰っていた。

A4 一人旅

A5 良い大学に入ること（職業に関してはなかったなあ。成り行きに任せるつもりだった。）

A6 自分の能力を低く見積もることなく、時間があるうちにやりたいこと色々試してみてください。一遍始めてみると、「あ、自分でもできるんだ、思ったより簡単だな。」って感じることも多いかと思います。

A1 とにかく1つの問題集を、何周も、間違いがなくなるまで繰り返し解いていました。

A2 好きだった教科は国語、苦手だった教科は社会です。

A3 バドミントン部でした。部活は平日に3回、休日に1回あり、勉強は主に部活のない日に集中してやっていました。

A4 部活のない日も、友だちとバドミントンをしに、いろいろな体育館に行っていました。

A5 小学生の時に入院したことがきっかけで、小児科医になりたいと思っていました。今も小児科医を目指して勉強を頑張っています。

A6 好きなことに一生懸命取り組んで、元気に過ごしてください！

A1 テスト前だけ課題を解いたりしました。学校で配布されたワーク中心です。一応進研ゼミも取っていたので、親に怒られるまで放置して、怒られてから一気に進めていました（笑）。あとは、友達と一緒に課題をときながら教え合ったりしていました。高校入試に向けては、受験校の過去問を直前に解いたりするくらいで、特別なことはしていませんでした。思い出としては、一緒に県内の男子校を受ける友達と入試の過去問を解いて点数を競い合ったりしていましたね。基本的にずっと点数で競争して伸ばしていました（汗）。苦手科目は国語くらいだったのですが、いつまでたっても十分にできるようにならなかったで、とりあえず漢字は書けるようにと漢字ドリルは真面目にやっていたのを覚えています。苦手科目より得意科目（数理英）に力を入れて総合的に問題ないレベルまで持っていくような勉強法でした。多分おすすめはあまりできません。

A2 好き：数学、理科、英語、社会（公民） 嫌い：国語

A3 吹奏楽部で、ほぼ毎日練習がありました。平日は16-18:30、土日は8:00-15:00くらいです。強豪校のブラック部活ではなかったで勉強との両立は可能でした。部活中に友達と話して遊んでいたのを覚えています。

A4 音楽を聴くことに熱中したり、部活の友達と遊ぶのを楽しんでいました。とはいえアウトドアではなかったので家でポケモンをひたすらやって、たまに勉強するくらいでした。基本的には部活の友達と先生に怒られないギリギリのおふざけをして楽しんでました。中学生ならあるあるですね。

A5 夢は基本ないのですが、都市計画をする職業に就きたいと入試の面接で答えた気がします。当時台風19号が栃木県に甚大な被害をもたらした、いつ起こるか分からない災害に備えることの重要性を身を以て体感しました。これがきっかけとなり、災害に強いまちづくりを行う都市設計の方面に進みたいと感じたのです。

A6 外に出かけたり、友達とご飯を食べたり、バカなことをしたり、恋をしたり。たくさん遊んで、今を楽しんでください！若い頃に見た景色や経験したことは一生物の宝です。みなさんが今を満喫して、大きく成長していくのが楽しみです。

No.1

No.2

No.4

No.3

そもそも川柳ってなんだろう？

川柳とは「五・七・五」の合わせて十七の音で作る短い詩のことです。俳句のように季節を表す言葉（季語）は必要ありません。そのため、自然や季節のことだけではなく身のまわりのできごとや、自分の気持ち、社会で起きていることなど、思いっぴたことをテーマにして、自由に詩を作ることができます。



MUC 川柳コンテストを開催します！今回は、お子さんだけでなく、保護者の皆さんからの作品も募集します。応募作品の中から「MUC 大賞」「MUC センター長賞」などを選定し、受賞者には賞品をお送りします。また、応募いただいた方全員に参加賞をプレゼントしますので、この機会にぜひご応募ください！お題は「スマートフォン」です（スマホ、タブレットも可）。スマートフォンについて考えたこと、感じたこと、実際にあったことなどを「五・七・五」で表現してください。みなさんのご応募をお待ちしています！



川柳コンテスト開催！



募集内容

スマートフォン（スマホ、タブレットも可）をテーマにした川柳 ※自作未発表のものに限ります※

※作品の背景やエピソードなどもあれば一緒にお送りください。
※応募作品は他者の著作権を侵害しない物とします。また、他コンテストとの二重投稿も禁止です。

募集〆切
2026
1/31

募集部門

【子どもの部】エコチル調査に参加しているお子さん
【保護者の部】エコチル調査に参加しているお子さんの保護者

応募方法

件名：川柳応募
本文：①作品 ②応募する方のお名前とニックネーム（任意）

【応募先】 muc-oubo@grp.tohoku.ac.jp

※メール受信後に MUC から確認のメールをお送りします。



結果発表

2026 年春夏に発行の「MUC だより第 25 号」で発表します。その他に、SNS などでも紹介いたします。

